

田植え研修を通じて考える「食」と地域貢献

太田市 & 太田市農業協同組合全面協力、オープンハウスグループ内定者が農業を体感

株式会社オープンハウスグループ（本社 東京都千代田区、代表取締役社長 福岡 良介、以下「当社」）は、2026年6月6日（土）、群馬県太田市で、太田市、太田市農業協同組合（以下「JA太田市」）、地元農家の方々の協力を得て、当社の新卒採用内定者が田植えを体験する米作り研修（以下「本研修」）を実施いたしました。昨年に続き、本研修は二度目の実施となります。



農業を取り巻く環境では、農業従事者の高齢化や、後継者不足など様々な問題が山積しています。さらに昨今は、肥料や燃料などの生産コストの高騰や、気候変動による収穫量への影響など、主食である米の「安定供給」と「食料安全保障」への関心がかつてないほど高まっています。

当社は、「地域の活力向上に積極的に貢献し、街の元気を作ります」という事業展望を掲げています。また、太田市では、OPEN HOUSE ARENA OTAを本拠地とするB.LEAGUEのB1所属チーム「群馬クレインサンダーズ」の運営に携わり、かつ、四大都市圏以外で唯一の営業センターを置き、戸建て関連事業も展開しています。

本研修は、当社の内定者が、共同で取り組むことによりコミュニケーションの重要性を学び、チームワークの強化を図るとともに、食の大切さ、農業や地方の課題を見つめ直すこと、さらには普段お世話になっ

ている地域において農業関係者の皆様との関わりの中で街の活力向上への貢献を目指すよう意識を高めることを目指し、実施いたしました。なお、本研修を含む食育に関する取り組みにより、当社は農林水産省より「[食育実践優良法人2026](#)」に認定の認定を受けております。

当日は、まず、太田市農政部の新島由光部長より「皆様の手で作るお米が太田市の魅力を発信する大きな力になりますので、怪我に気をつけながら、ぜひ最後まで頑張ってください」と、激励をいただきました。

続いて、JA太田市営農部の塚越栄一部長に、「食と農を未来につなぐために今を考える」と題して、講義をしていただきました。塚越部長は、基幹的農業従事者数、新規就農者数、農地面積、食料自給率が今後減ることが見込まれ、農業従事者の高齢化が進むという、国内農業の基本情勢をご説明されました。また、農業分野において中東情勢緊迫化の影響を受けている、肥料・飼料の価格高騰や農業資材の不足などに関して解説していただきました。



講義の後、水田で、内定者が、農家の方々、JA太田市の職員のみなさまから指導を受けながら田植えを行いました。約25人の内定者は裸足で水田に入り、横一列に並び、苗が倒れないよう丁寧に、また真っすぐ並ぶようお互いに元気に声を掛け合いながら、一列ずつ植えていきました。植えたのは「コシヒカリ」と同等の美味とされ、北陸および関東以西の幅広い地域で栽培が可能な「にじのきらめき」という品種の苗です。約2時間に渡り、約150㎡の範囲に、あわせて約2,000株を植えました。



参加者の感想

- ・不動産業界は中東情勢やナフサ不足の問題により、衣食住の「住」の部分に関する影響を受けているが、今回の研修を通して、農業にも影響が出ていることが分かり、「食」についても考える必要があると思いました。
- ・中東情勢の影響を受けて農業でも肥料やプラスチックの素材などが影響を受けていると知り、日頃、新聞で読んでいた内容を今回の研修で実際に体感しました。

- ・実際に田植えを体験することで、食べ物一つ一つが大変な思いをして作られていると知り、今後は外食の時に残さず食べたり、国産のものを選んだりしようと思いました。
- ・野菜の単価は上がらない一方で資材は高騰するという農家の厳しい現状を講座で学び、農業を取り巻く環境の大変さを想像以上に痛感しました。
- ・食料自給率の低さに関して、自分一人が意識するだけでも少しは変わると思うので、なるべく国産のものを選んで食べるようにしたいです。
- ・自分たちにできることは、もう一口食べる、食べ残しをしない。国産のものを食べるという部分だとお聞きしたので意識しようと思いました。
- ・初めて田植えを経験して、お米が自分達に届くまでの過程を体験する機会がなかなか無いので、とても勉強になりました。この過程を経験したからこそ、食材の有難み、国産の有難みを大切にしたいと改めて考える機会になりました。
- ・実際に田植えをする中で、足が取られて思う通り進まない大変さや、屈んだ姿勢が続くことなどから肉体的に大変な作業が多く、農業が高齢化してしまうことは想像以上の負担や大変さがあるのだと感じました。



※画像はイメージです

今回植えた苗が収穫を迎える今秋、内定者による稲刈り体験を予定しています。昨年は、収穫したお米を「やる気の源米（げんまい）」として採用活動などの様々なシーンで活用いたしました。就職活動に励む学生の方々に提供し、学生本人やそのご家族から大変ご好評をいただきました。当社は、本業である「住まい」の提案にとどまらず、地域の皆様と共に社会貢献を目指してまいります。今年度、収穫するお米も、次世代の就職活動生を応援するギフトとして活用していく予定です。

実施概要

主催：株式会社オープンハウスグループ

協力：太田市、JA太田市、地元農家の方々

日時：2026年6月6日（土）

場所：群馬県太田市内の水田

参加者：オープンハウスグループ内定者約25名、太田市関係者、JA太田市関係者、農家の方々

企業概要

株式会社オープンハウスグループ

本社所在地 〒100-7020 東京都千代田区丸の内 2-7-2 JPタワー20階（総合受付）・21階

創業 1997年 9月

代表者 代表取締役社長 福岡 良介

資本金 203億1,988万円

従業員数（連結）6,495名（2026年3月末時点）

株式会社オープンハウスグループ Web サイト URL：<https://openhouse-group.co.jp/>

株式会社オープンハウス Web サイト URL：<https://oh.openhouse-group.com/>

＜ 本件に関するメディア関係者様からのお問い合わせ ＞
 株式会社オープンハウスグループ 広報（池野）
 TEL：03-6213-0783 MAIL：pr@openhouse-group.com